

広報 北浦村

第140号 (発行日) 昭和46年8月25日 (発行人) 北浦村長 勢司 治雄 (印刷所) さんゆう社印刷

北浦村の人口

46年8月末日
(単位・戸、人)
世帯数 2,292(一)
総人口数 10,814(△40)
男 5,252(△14)
女 5,562(△26)
△印は減少

(八月の議会)

議長に石上氏を選ぶ

副議長は河野氏



石上議長



河野副議長

八月十一日、第五回臨時村議会が役場会議室で開かれ、正、副議長選挙など選挙五件、補正予算など議案三件が提出され、つぎのとおり決定しました。

○議長選挙
出久根前議長の助役就任とともに、空席の議長に石上頼亮氏、副議長に河野晴雲氏が当選、

○広域行政等による一部事務組合の議員選挙はつぎのかたを選任

○潮来町外二町一ヶ村伝染病隔離病舎組合 石上 頼亮

○北浦村外四町老人福センター組合 根崎 和一

○麻生町外一町一村ごみ処理組合 千ヶ崎 騩
須賀 光尾

就任のあいさつ



出久根助役

助役に出久根保氏

就任のあいさつ

助役就任のごあいさつを申し上げます。

このたび、四月の地方統一選挙により、新しく勢司村長を迎えて、このたび、北浦村議会議長が開かれ、欠員の助役に前議長の出久根保氏が選任されました。

このたび、北浦村議会議長を辞任致し議会の推せんにより、八月一日付で助役に就任致しました。

もとより、浅学非才その器ではありませんが誠信微力をそそぐ決意でございます。

(北浦村助役 出久根保)

また議長出久根保氏の助役就任により、議会人事の改選にあたり、不肖私が村議會議長に当選しましたことは、感激また責務の重大さを痛感いたすものであります。顧みれば、議員として四期十七年間、村政に参画してまいりましたが、村政上に益すことが少なか

れども、議員として四期十七年間、村政に参画してまいりましたことは、感激また責務の重大さを痛感いたすものであります。顧みれば、議員として四期十七年間、村政に参画してまいりましたが、村政上に益すことが少なか

(北浦村議會議長 石上頼亮)

議員をしてはじめて議員生活二十一年四ヶ月、その後、北浦村議會議長として十五年四ヶ月、また郡町村議長会会長として十四年、県町村議長会副会長四年同じく会長として四年、関東町村議會議理事として四年、全国町村議長会監事二年同じく副会長ならびに会長職務代理として二年その長期にわたりみなさまのご支援とご協力により大過なくその職責を果し得ましたことを衷心より厚くご礼申上げます。

今後は立場は異なりますが、執行部の一員として多年にわたる議員ならびに議長生活の中から学び得た経験と体験を十分いかし、勢力として、今後の農業の進歩方や農業後継者の育成の問題など真剣に考へねばなりません。また、鹿島港の完成により日々に工業開発が進められています。それにもなると、農政の問題は、重要な課題であり米の生産調整のうちに談相手となり、地域の要望にこたえて村行政のあり方を考へてまいりたいと思います。

とにかく、農政の問題は、重要な課題であり米の生産調整のうちに農業後継者の育成の問題など真剣に考へねばなりません。また、鹿島港の完成により日々に工業開発が進められています。それにもなると、農政の問題は、重要な課題であり米の生産調整のうちに農業後継者の育成の問題など真剣に考へねばなりません。これからの村造りと地域福祉の向上のため、最善の努力を尽す覚悟でありますので、お願い申し上げましてごあいさついたします。



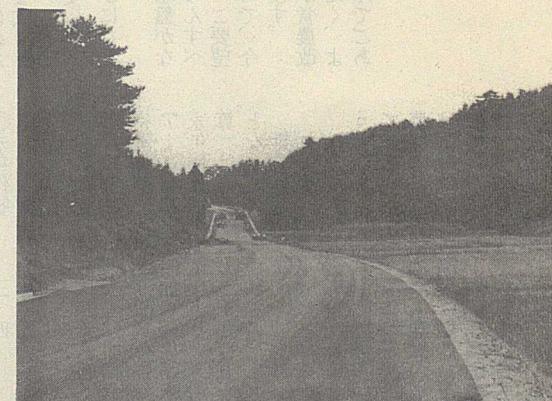
化蘇沼稻荷のすもう……8月25日は恒例の“稻荷のすもう”、毎年人出でにぎあいます。子供たちもあと一週間の夏休み。宿題を心配しながらの見物。

フォトニュース

小舟津土地改良が完成……小舟津の十
七、七ヶタールの土地改良事業が完成。
これで人力による作業も解消・近代農業経営へ。



10月中に完成“三和バイパス”…
昭和44年より工事が進められていた三和・成田地内のバイパス新設工事はいよいよ10月完成三和の集落は大型車、通過車の交通は大巾に緩和



村道工事進む……本年度は、道路整備計画による一年次、50年までは生活道路も含めて改良、舗装を村内の路線に。
(写真は山津平線)

この学資保険は、次のような仕組みになっています。
一、進学年令に合わせて満期になると、
二、満期学資保険があります。加入年令は〇才から十才まで、契約者が二十才から五十才までとなります。
三、契約者は二十才から五十才までとなります。
四、傷害特約ですから被保険者が交通事故や思わず災害で五日以上入院したときは、保険金の全額から一割までの傷害保険金、死亡したときは保険金の二倍を支払います。

十八才満期学資保険は、高等学校入学年令の十五才時に保険金の一割を、大学入学年令の満期時に残りの九割に配当金を加えて支払います。
十五才満期学資保険は、高等学校入学年令である十五才時に保険金に配当金を加えて支払います。

この学資保険は、次のような仕組みになっています。
一、進学年令に合わせて満期になると、
二、満期学資保険があります。加入年令は〇才から十才まで、契約者が二十才から五十才までとなります。
三、契約者は二十才から五十才までとなります。
四、傷害特約ですから被保険者が交通事故や思わず災害で五日以上入院したときは、保険金の全額から一割までの傷害保険金、死亡したときは保険金の二倍を支払います。

“新”学資保険

七月九日、県と自治省との協議により鹿行地域ほか三地域が広域市町村圏として内定されました。広域市町村圏といつてもまだ耳にならないかたが多いと考えられますのでご説明します。

鹿島郡・行方郡が

広域市町村圏に

=道路整備 公共施設整備中心に=

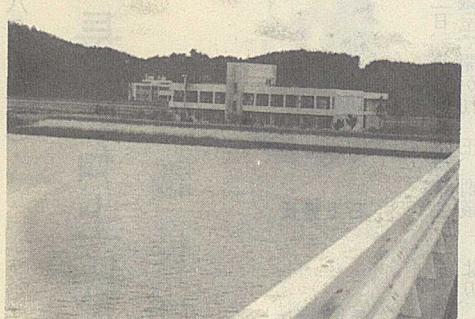
市と同じ生活をいとなむようになったが、まわりの道路・下水道・ゴミ・屎尿処理といった公共施設は非常に整備がおくれています。その整備は町村において急務であり、住民福祉のうえからも整備がせまられています。

一方では、交通通信手段の発達によって日常生活の行動範囲は、町村の区域をこえて、広がりつつあります。そこで、住民の日常生活と一体化した行政をおこなうために、町村が共同して協力体制を整え、公共施設の整備をはかるうとするのが広域市町村圏の考え方です。

機構・計画の樹立 市町村圏は、県の認可により、圏内全町村を範囲とする広域行政機構を設置します。この機構は一部組合(

町村の事務)・事業を共同処理するための町村の団体)で、圏内の振興整備を効率に行なうため

◇昭和43年6月 行方郡が広域行政第一号として完成した山田の行方郡老人センター

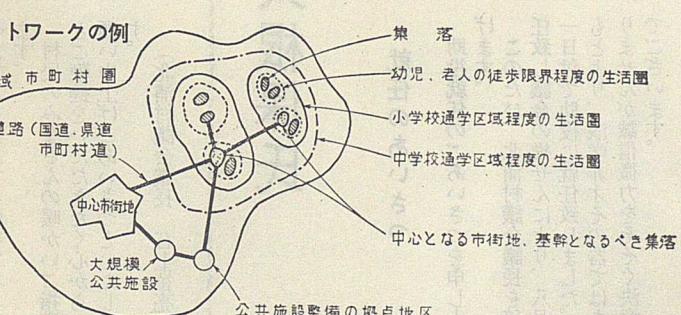


財政の援助
広域市町村圏計画の策定や計画にもとづき実施される事業については、国より財政の援助が次のようにあります。

①一圏域あたり平均百五十万円を計画策定に要する経費として補助
②一圏域あたり二ヶ年で二千萬円を計画に

③計画にもとづく根幹的な事業に付税(国税より一定割合)や町村に交付する税、村の財源の約半分を占める)を増加し、地方債(村が国からの借金)の許可についても優先的に取りあつかうことになっています。

○広域ネットワークの例



転居の前に

転居届を

郵便物の受取人が転居をした場合、郵便局に転居届が出されれば、郵便物は移転先へ転送されます。この取扱いは、転居届が提出されたときには、普通郵便物を転送するときには、普通郵便扱いでいたが、たゞド・キが順調にびたことと同時に計画出荷、共撰共販が徹底された結果であると報告された。

総会開く
北浦みつば出組連
会長 前田 騒
会計 仲居 忠

八月二十三日、北浦村公民館において北浦みつば出組連合会の総会が開かれました。連合会の販売額は、七億六千五百円と飛躍的に伸びた。これはみつばはもちろんのことメロンをはじめとした特産品として取りあげられたウド・キが順調にびたことと同時に計画出荷、共撰共販が徹底された結果であると報告された。

つづいて昭和四十六年度予算案、役員改選の案件が提出され、審議の結果承認され閉会しました。

（写真は山津平線）

農協欄

キヤーリングを建設

|| 次木支庫わきに ||

青果物低温出荷 体制の促進事業

食料甘諸の出荷調整を主眼としたキヤーリング（甘諸貯蔵倉庫）を県・村役場の助成事業として、次木支庫となりの敷地に建設を決しました。

キヤーリングは十月初旬までに完成の予定で、組合員のご利用を期待しています。

● 建設予算 六百万円
坪 一九八平方坪
(六〇坪)
事業主体 北浦村農協

就任のあいさつ

組合長理事 柏原久三郎

不本意ながら種々の事情もあって、今回六月一日より高柳光次郎さんのお手をうけ九月まで北浦村農業組合長の任務を担当することになりました。

申すまでもなく、七〇年代は農業経営者にとって容易でない時代となりました。

このきびしい現実の姿をふまえて組合員各位の心を農協経営の心として苦しみも、樂しみも、共に分ち合いながら前進をはかりたいと念願しています。

時畜の推進に引続いて、農協共済事業の推進を実施いたし初期の目的を達成しましたが、皆さんの

政局の係員が去る七月十二日現地調査に来村し、公民館において村・農協・みつば組合等の役職員と協議の結果、席上昭和四十七年度の予算に低温倉庫建設に努力する約束が得られました。

計画では、建物面積五十坪、千五百円程度の経費を要し、過剰投資となるそれがあり、体制が完全でなければならず、生産者各位の協力はもちろんです。あります

が、出荷体制の改善を強く要望せられました。

今後ともさらに一層のご協力を

お願いします。

毎年皆様のご協力により、今日のあわせがさらに大きく、将来の発展と楽しみが、築かれて行くことと思います。

今後ともさくらに一層のご協力を

お願いします。

共済特別普及運動

成果のおしらせ

身辺の危険から身を守り、家族を守ることは、七〇年代に生きる私達に強く要請されています。

農協共済普及運動については、推進委員の協力を受け連日にわたる推進の結果、次のような成績をあげました。

協力のたまもので誠に喜びにたえません。

農協自体が確固とした基盤がなければ、資金的にはもちろんすべての点において、皆さんのご要望にこたえたいと思いますので、今後ともご協力を願います。

短かい期間でありますが當農改善に最善の努力をいたしたく、よといつそのご叱声を望んでございさつといたします。

制度のあらまし

kg 当り六十八円の奨励補助金（奨励金）の支払いは 加算金 寄託休耕 養魚池 普通転作 アール当り五千円加算 集団転作 永年作物は十アール当り一万円加算）は五百十八万二千九百五十円となっています。

は金融機関の口座等に振込む予定です。残分の二十六円（奨励補助金）と加算金は十一月中に支払われる見込みです。

※共済見舞金

災害区分	見舞金額
① 死亡した場合	500,000円
② 全治6カ月以上の傷害を受けた場合	100,000円
③ " 3カ月以上 "	50,000円
④ " 1カ月以上 "	20,000円
⑤ " 1週間以上 "	5,000円
⑥ " 1週間未満 "	2,000円
身障見舞金(1級・2級身体障害)	100,000円

家族みんなで加入しましょう

茨城県民交通災害共済に

村民のみなさん、県民交通災害共済に加入しましたか、いつ、どこで、だれが交通事故にあうかわからりません。万一にそなえて加入しましょう。

制度のあらまし

※共済掛金……1年360円・中学生以下…300円
※共済期間……申し込んだ日の翌日から一年間
※申込受付……北浦村役場住民課窓口まで